

研究計画概要

助成年度・種別	2026年度 一般研究助成
研究代表者	太幡 直也
所 属	愛知学院大学総合政策学部
研究テーマ	SNS 上でのドッキング行為の心理学的介入による抑止 —若年層を対象として—
研究計画概要	<p>近年、SNS 上でのドッキング行為は、他者の個人情報やネット上で収集して無断で公開し、恥辱や威嚇を与える深刻な社会問題として注目されている。被害者の心理的影響や加害者の特性に関する研究はなされているものの、行為の実行要因や抑止に向けた介入方法は十分に検討されていない。</p> <p>本研究は、ネットリテラシーが未成熟で加害リスクが高い若年層を対象に、ドッキング行為を促す心理的要因を解明し、その抑止に有効な介入手法を開発・検証することを目的とする。</p> <p>まず、Web 調査でプライバシー意識や人気希求、他者への態度などがドッキング行為意図に与える影響を分析する。続いて、得られた知見に基づく心理学的介入を行い、統制群との比較で効果を検証する。</p> <p>本研究により、従来の技術的検知に依存しない予防的アプローチを提示し、情報モラル教育やSNSリテラシー向上施策、行政ガイドライン策定への提言を通じて社会安全に資することを目指す。</p>
選考委員からのコメント	<p>SNS上でのドッキング行為が、他者の個人情報をネット上で収集・公開して恥辱や威嚇を与える社会問題として、注目を集めている。本研究は、若年層を対象に、ドッキング行為を促す心理的要因を解明した上で、その抑止に有効な介入方法を心理学的に解明しようとするものである。研究の準備状況は良好で業績に富むことから、研究成果の生産に大いに期待する。プライバシー意識以外の要因にも注意を払いながら、情報モラル教育や SNS リテラシー向上施策、行政ガイドライン策定への、有効な提言を発信して欲しい。</p>